予算事業別事務事業評価シート【対象年度:H29年度~H30年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道監視センター	_

,	会計	款	項	目	事業	予算事業名
	١	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(委託料)

要 す	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
る	総事業費	139,410千円	145,362千円	136,716千円	0千円
経費	総人件費	5,129千円	4,975千円	4,975千円	
全 体	総事業コスト	144,539千円	150,337千円	141,691千円	

事務事業名	- 配水場等施設の維持管理及び運転管	指標名	業務実績					指標種別	活動結果指	西示						
7-123 7-28 11	理業務		H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	指標の概要	_			
戦略プラン	- - -	目標値	365	366	365	3	865	365	366	365						
+ス岬ロン ノン	- - -	実績	365	366	365	3	865	-								
	_ _ _	H29年度					T	H30	年度]					
総合戦略	 		正な業務の履行を 督・指導を強化する		業務受託者に対し	改善目標	善 適正な業務の履行を確保するため、業務受託者に対し 目 監督・指導を強化する。						-			
市長公約	-											事業実施 コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	_	 事 _要 平)	成29年度以降の委	会託業務について	「は、業務内容の見 合に向け取り組み	事業	平成30:	年度以降の委託	業務については	、業務内容の見	_	事業費(A)	139,410千円	145,362千円	136,716千円	0千円
		業値は	しを行い、更なるオ す。	<道水の安定供約	合に向け取り組み	事業計画	直しを行 ます。	テい、更なる水道	水の安定供給に	向け取り組み		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	水道法第24条の3											県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	THE INCOME.						-				内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類 執行体制	F 施設等維持管理事業 全で委託		成30年3月31日現	在,運転監視業	務(浄・配水場の巡	上半期						その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
42413 14-10-3	T (X10	活設的	活 視点検及び末端の水質管理を含む。)、電気設備、計場									一般財源	139,410千円	145,362千円	136,716千円	0千円
▮ 木 佐 -	等施設の適切な運転及び維持管理を実 3客様である水道使用者に安心してご利用	第 期	期点検業務のほか、自家用電気工作物保安管理消防設備等点検、階段昇降機整備点検、自動門扉整備点検、配水池等清掃,事務室等清掃,保安業務の計13項目を包括的に実施しました。				-					人件費(B)	5,129千円	4,975千円	4,975千円	
の 目 いただするた	ける、安全な水道水を常に安定的に供給										1	従事 正 割合	0.70人	0.70人	0.70人	
										内訳	職 時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
		管:	成30年3月31日現 理業務を民間企業	へ第三者委託し	たことにより、民間	計上						臨時職員等	無	無	無	
		🚣 の:	技術やノウハウを	活用することで維	掛管理業務の充 とって技術者の確 難しくなる浄・配水	半	-					事業コスト (A+B)	144,539千円	150,337千円	141,691千円	
	第24条の3の規定に基づき、浄配水場施 転管理等業務を委託する。	場(が困難な状況のな の運転管理や水質 実施することができ	賃管理など、技術	難しくなる浄・配水 上の業務を継続的	成果					H 31 年	1				
	_ -	課者	れは、全国の事業 委託事業もこの流 時に委託事業を監	体に共通する傾「 れの一環により <mark>)</mark>	「減少しています。 句です。当該第三 実施していますが、 る職員の育成も必	課題	-				度当初積算	<u>-</u>				
H29 環境		事業	となっています。	│ 改善目標 <i>0</i>			事業の		改善目標の		₩₩₩	Į				
関連 _ 性		進捗	<u> </u>	進捗状況	- 建成		<u> </u>	-	進捗状況	_	170					
ISO 14001 H30	- -	=		成果が得られて		₽ ₩	有効性				Lin	31年度				
環境 関連 _ 性			か率性 中:適切な			評 価	効率性				の;	方向性 —	理由 -			
11		総	合評価 B∶成果•費	(用対効果の向上)	こ努めつつ継続実施		総合評	1曲		0						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度: H29年度~H30年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道監視センター	_

会計	款	項	Ш	事業	予算事業名
-	01	01	02	_	営業費用 配水及び給水費(共同水質検査手数料)

要す	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
á	総事業費	4,393千円	4,438千円	4,995千円	0千円
経費	総人件費	5,129千円	4,975千円	4,975千円	
全体	総事業コスト	9,522千円	9,413千円	9,970千円	

事務事業名	- 水質検査事業	指標名	路 検査実績(回)					指標種別	活動結果指	票						
			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	信標の概要	水道水が水質	質基準に適合し	していること。	
戦略プラン・	_ _ _	目標値	直 12	12	12		12	12	12	12						
#X 曜 フ フン		実績	12	12	12		12	ı								
				H29年度				H3	0年度]					
総合戦略	 	改善				改善目標	-				そ(の他の指標	検査実施回数			
市長公約	-										-	事業実施 コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	_	事水	道法及び水道法施 度により水質検査	「行規則の規定に を実施」 総会計	□ 三基づく検査項目と ・画の其太施等で	: 事	水道法が	及び水道法施行 より水質検査をす	規則の規定に基	はづく検査項目と では本施策で	事	事業費(A)	4,393千円	0千円	4,995千円	0千円
		計 あ	る「安全で安定した ため取り組んでまし	生活用水の供給	別の目的を達成す	「∥ 計	ある「安	全で安定した生 取り組んでまい	活用水の供給」	の目的を達成す		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	水道法第20条		-					ン、4人 7hm/0 C あい 7 み 9 。				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類執行体制	C 義務的事業 全て委託					上半期						その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
		∥動 を	平成30年3月31日現在、水道水質基準を順守することを平成29年度の取組み方針として、事業を推進し、すっての水質検査結果が水質基準に適合していることを確認しました。									一般財源	4,393千円	0千円	4,995千円	0千円
事業水道利	用者が安心して飲用できるよう、常に安全	実て					-				J	人件費(B)	5,129千円	4,975千円	4,975千円	
ので良好的	な水質であることを確認するため。					実 績 					Ī	従事 上 割合	0.70人	0.70人	0.70人	
н											内影	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
		平	成30年3月31日現	在、水道法及び	水道法施行規則 <i>の</i>	上						臨時職員等	無	無	無	
重		成 規 根 そ	定に基づく検査項 の検査結果が水道 計画の基本施策で	目と頻度により水 「水質基準を超過 「キス「ヤクスヤラ	、質検査を実施し、 したことはなく、総	半						事業コスト (A+B)	9,522千円	4,975千円	9,970千円	
●の●は、頻り	及び水道法施行規則の規定に基づく項 度等により水質検査を実施することで、水 水質基準に適合していることを確認する。	供	計画の基本施束で 給」の目的を達成し	がいました。	とした主治用水の	│ 成 │ 果				H 31 年	:					
	つ その他 -	課_				課題	-				度当初積算根	-				
環境 関連 — 性		業の 達成 ・状況 達成	改善目標の 進捗状況	_		_ 事業の <u>售捗状況</u> ┃ _{左 効} #	-	改善目標の 進捗状況	-	拠						
4.4004	- -			:成果が得られて :費用対効果が得		評価	有効性 一 対率性					31年度 _	理由 -			
関連 ―		☆ 対率性 中:適切な費用対効果が得られている 総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施						価 –			<u></u> の7	方向性				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度:H29年度~H30年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道監視センター	-

会計	款	項	皿	事業	予算事業名
ı	01	01	02	ı	営業費用 配水及び給水費(配水場修繕)

要す	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
á	総事業費	10,666千円	5,588千円	9,720千円	0千円
経費	総人件費	4,396千円	4,265千円	4,265千円	
全 体	総事業コスト	15,062千円	9,853千円	13,985千円	

事務事業名	- 配水場内施設修繕工事事業	指標名	修繕実績					指標種別	活動結果指	票						
	100000000000000000000000000000000000000		H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	扑	指標の概要	_			
戦略プラン	- - -	目標値	-	-	-		_	-	-	-						
戦略ノブン		実績	10	-	9		9	-								
	- - -			H29年度				H30)年度]					
総合戦略	 		拖設の重要度∙能: こ必要な修繕工事		をしながら、安定給	改善目標	善					の他の指標	-			
市長公約	_											事業実施 コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	_	 事 業 配2	k場の設備機器の)故障や異常発生	上時等に迅速に修	事業	配水場(の設備機器の故障	障や異常発生時	持等に迅速に修	_ 	事業費(A)	10,666千円	5,588千円	9,720千円	0千円
		計 繕を 画	生実施する。			計画	繕を実抗	施する。				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	_											県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類執行体制	F 施設等維持管理事業 全て委託					上						その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
		活動平原	成30年3月31日現	在、緊急工事を?	今め計9件の修繕	■ 上半期 三 活	并 朝 舌 -					一般財源	10,666千円	5,588千円	9,720千円	0千円
事配水場である。	等施設の適切な運転及び維持管理を実 お客様である水道使用者に安心してご利用 ける安全な水道水を常に安定的に供給す		尾施しました。	施しました。								人件費(B)	4,396千円	4,265千円	4,265千円	
の 目 るため	ける安全な水道水を常に安定的に供給す。					実 積] 	従事 正 割合	0.60人	0.60人	0.60人	
												時間外 動務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
		165-41	キ /ナ 生!! ナ 畝 こ タチト ナニ	1 - + + - 1 - x 3	町北担笠の乳供料	上					\blacksquare	臨時職員等	_	無	無	
事		成 修作 器 の 果 完 的	善体制を整え維持 の故障や異常発生 内な水道水の供給	してさたことで、P 時に、速やかな が行えた	電水場等の設備が 修繕を実施し、安	半 期 成	-					事業コスト (A+B)	15,062千円	9,853千円	13,985千円	
┃ 業 ┃ 配水場	の設備機器の故障や異常発生時等に迅 繕を実施する。			10 1176720		果					H 31					
要		課				課題	_				年度当初積					
H29	- - -										算根	<u> </u>				
環境 関連 – 性		事業進捗	の 達成	改善目標 <i>0</i> 進捗状況	達成	進	」 事業の <u>能捗状況</u>	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
	- -	有	「効性 中:適切な	成果が得られて	いる		有効性	<u> </u>								
H30 環境 関連 _		評 効率性 中:適切な費用対効果が得られている					評 効率性 -				H3 の;	31年度 _ 方向性 _	理由 -			
性		総合	合評価 B∶成果•費	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施	1	総合評	価 -								